

重要取組シート

中百舌鳥イノベーション創出拠点担当

取組項目	中百舌鳥を拠点としたイノベーション創出に向けた取組推進
現状・課題	【現状】 ○ 近年、特にコロナ禍以降の経済社会における価値観は大きく変化し、社会課題解決、SDGs、ESG等、持続可能な社会と経済の発展に向けた取組がより一層ビジネスに求められている。また、AIの活用、デジタル化やグリーントランスフォーメーション（GX）の進展により、新たなビジネスモデルの創出が加速している。 ○ 全国的に事業所数が減少する中、新たな経済活動の担い手であるスタートアップ企業は、事業主体やスタイルが多様化し、中でも、急成長をめざすスタートアップは、ベンチャーキャピタルによる資金調達などの観点から、東京や大阪梅田に一極集中する傾向がある。 ○ 本市中百舌鳥エリアは、大阪市中心部へのアクセス性に優れ、大阪公立大学のほか、さかい新事業創造センター（S-Cube）、堺市産業振興センター、堺商工会議所等の産業支援機関や日本政策金融公庫堺支店が立地し、スタートアップ・中小企業の持続性を高め成長を支える重要な地域であり、イノベーションに資する新たなビジネスの創出が期待される。 ○ こうしたことから、中百舌鳥エリアをイノベーション創出拠点と位置づけた上で、施策の強化を図っており、その結果、社会課題の解決や新たな価値創造をめざす起業家・スタートアップ・中小企業が集まり、イノベーション創出と支援ネットワークによるイノベーションエコシステムの形成が進んでいる。 ○ 令和3年度からのイノベーション支援事業延べ参加者数は令和7年3月末現在で13,000人を超えている。起業家等の事業者に加え、学生、子育て世代の女性、また小中学生など、次代のイノベーションを担う層の交流・共創が進んでいる。 【課題】 ○ 首都圏や関西中心部との差別化を図りつつ、中百舌鳥エリアの特性を活かし、ゼブラ企業の創出を促進すること。 ※ユニコーン企業が利益の最大化・急成長を志向するのに対し、ゼブラ企業は社会課題解決と経済成長の両立を目指し、持続的な成長を重視。（2023年中小企業白書） ○ 新たな技術や商品、サービスからイノベーション創出に結び付けるため、スタートアップ、中小企業、大学、支援機関、住民、行政の共創による取組を推進し、コミュニティ形成、プロジェクトの創出、ビジネスモデルの確立、実証実験等の機会の提供、また事業の持続性と成長促進のため経営基盤の強化をサポートすること。 ○ 次代のイノベーション創出に向け、子どもや若年層が主体的に社会に関わり挑戦する心を育むこと。 ○ 社会や地域課題の変化に伴い多様化するビジネスのスタイルに対応するため、民間企業や国、他の自治体・支援機関、大阪公立大学等との連携を強化し、イノベーションエコシステムの充実を図り、産学連携や共同研究・開発等の推進により新事業を創出すること。 ○ 中百舌鳥のイノベーション創出拠点としての認知度向上を図り、新たな起業家や支援機関等を巻き込み、イノベーション創出のポテンシャルを高めること。 ○ 地域発のイノベーションの定着を目的として、オフィス需要の高い中百舌鳥地域において、ス

		スタートアップ向けオフィス賃料補助やフレキシブルオフィス整備を重点的に推進すること。
取組の内容		○ イノベーションの創出に向け、スタートアップ企業、地域の中小企業、大学（研究者・学生）、若者、支援機関、住民、行政が共創し、社会課題・地域課題解決に資するプロジェクトの創出や実証・実装、コミュニティ形成促進等に向けたワークショップやマッチング、ハンズオンによる事業化支援、次世代人材育成等の施策・取組を推進する。 ■ イノベーションを創出するコミュニティ形成の強化（交流・共創拠点） ■ 社会課題解決するプロジェクト・ビジネスの創出支援 ■ 創業・スタートアップ創出育成支援（アクセラレーション／インキュベーション） より実効的なイノベーション創出をめざし、アクセラレーションについては、商品・サービスの市場開拓を目的とした実践的な支援内容とする。 ■ スタートアップ実証促進／ベンチャー調達（実証と実装） ■アントレプレナーシップ教育 ○ イノベーションの事例や創出に向けた取組を広く発信し、中百舌鳥のイノベーション創出拠点としての認知度を高める。 ■ 共感・共創のストーリーシートの作成・発信 ■ 万博出展など外部での PR の機会の活用 等 ○ オフィスの集積によるイノベーション創出拠点の形成に向け、スタートアップ企業等がオフィスを新たに開設する際の賃料の一部補助や、スモールオフィスやフレキシブルオフィス、一定規模以上の賃貸オフィスビルの整備に対し、その経費の一部を補助する。 ○ 大阪公立大学に堺市専属のコーディネーターを配置し、ワークショップやマッチングなどを通じて、大学の研究と市内中小企業の連携・協働による新たなビジネスやプロジェクトの創出を促進する。 ○ 大阪府・市、堺市、大阪産業局、経済団体、大学等で構成する「大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」や、市長公室、建築都市局、民間企業等で構成する「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」などを通じて、関係機関・組織と情報共有・協力し、イノベーション創出に向けた効果的な取組を進める。 ○ 万博の開催を好機と捉え、次代のイノベーションの担い手の発掘・育成をめざし、あわせて本市イノベーション創出の取組を広く発信し、中百舌鳥への誘導を図る。
スケジュール	前期 （～9月）	☐ スタートアップ新事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時） ☐ 万博に関連した事業（出展等）を実施【万博関連取組】
	後期 （～3月）	☐ スタートアップ新事業等を実施（随時） ☐ 企業投資促進施策を総合的に実施（随時）
	次年度以降	☐ 効果検証を含めた事業展開を行う。

(様式 4)

進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4－(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
	寄与する KPI	イノベーション創出につながる事業数[現状値：74件 (2015年度～2019年度の累計)]		目標値(2025年度) 100件(2021～2025年 度の累計)
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —